

製品名: CARD11 (6T8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07927**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	133kDa

抗原情報

遺伝子名	CARD11
別名	CARD11; CARMA1; Carma 1; BIMP3;
遺伝子 ID	84433.0
SwissProt ID	Q9BXL7
免疫原	ヒト Carma 1/CARD11 の合成ペプチド

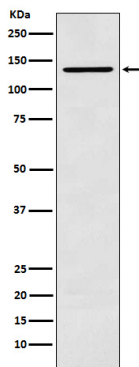
背景

T細胞受容体 (TCR) を介したT細胞活性化に必須の共刺激シグナルに関与する。DPP4 への結合は、T細胞受容体/CD3 依存的にT細胞増殖およびNF- κ B 活性化を誘導する。BCL10 およびIKK を介してNF- κ B を活性化する。BCL10 のリン酸化を刺激する。T細胞受容体 (TCR) およびB細胞受容体 (BCR) の結合下流でNF- κ B の活性化を誘導することにより、適応免疫応答において重要な役割を果たすアダプタータンパク質 (PubMed:11278692、PubMed:11356195、PubMed:12356734)。BCL10 およびMALT1 と共に多タンパク質複合体を形成し、NF- κ B およびMAPキナーゼ p38 (MAPK11、MAPK12、MAPK13、および/またはMAPK14) 経路を誘導することにより、下流のTCRまたはBCR活性化シグナルを伝達します (PubMed:11356195)。TCRまたはBCRの活性化にตอบสนองして活性化されると、CARD11はホモオリゴマー化して核形成ヘリカルテンプレートを形成し、CARD-CARD相互作用を介してBCL10をリクルートします。これにより、BCL10の重合が促進され、続いてMALT1がリクルートされます。これは、I- κ Bキナーゼ (IKK) のリン酸化と分解、そして核移行のためのNF- κ Bタンパク質の放出につながります (PubMed:24074955)。DPP4への結合は、T細胞受容体/CD3依存的にT細胞の増殖およびNF- κ Bの活性化を誘導する(PubMed:17287217)。BCL10のRNF31/HOIPへの標的化を促進することにより、BCL10の線形ユビキチン化を促進する(PubMed:27777308)。BCL10のリン酸化を刺激する(PubMed:11356195)。また、TORC1シグナル伝達経路を活性化する(PubMed:28628108)。

研究分野

免疫学、適応免疫、B細胞、非CD、細胞生物学、アポトーシス、細胞内、カスパーゼなど、CARDファミリー、シグナル伝達、アダプター、細胞質、NF κ B経路、

画像データ



K562細胞溶解物中のCARD11発現のウェスタンブロット解析。